

令和5年度9月議会の補正予算について

補正予算

一般会計（補正第4号）

- ・高画質遠隔支援システムを使用した社会見学やキャリア教育の実施などによるDXを活用した教育への取組
 - ・市内DX推進のためLoGoチャットのアカウントを追加するほか、生成AI「ChatGPT」の導入に関する費用を計上
 - ・グローバルな視点を持って、台湾の半導体製造企業等に向けた企業誘致を推進するための営業の強化
 - ・国連を特別パートナーとして、小学生がSDGsの17の持続可能な開発目標を実体験し、スタートアップについても学ぶ体験型事業を開催し、本市をフィールドにしたSDGsの発信
- ほか計上する。

補正額 9億7,593万3千円

補正後予算額 582億981万7千円

特別会計

介護保険事業特別会計（補正第2号）

- ・介護保険法改正のためのシステム改修費用を計上する。

補正額 1,870万円

補正後予算額 112億2,589万円

補正予算の主な事業

◎ 全員参加型の市政に

- 1 立体駐車場管理運営費（地域コミュニティ課） 182万円
 - ・消防庁舎等再編整備事業に伴い建設する桑名市大山田コミュニティプラザ駐車場について、市が負担すべき費用を計上する。

◎ 命を守ることが最優先

- 1 障害者施設運営費補助金（障害福祉課） 1,615万円
 - ・障害福祉事業所において、入浴サービス等によるガス・電気料金や、通所系サービスの送迎における燃料費の高騰、さらに食事の提供における材料費の高騰により経費が上昇しており、経営を圧迫していることから、安定した障害福祉サービスの提供を継続するため、物価高騰対策支援を行う。

- 2 民間社会福祉施設等整備助成事業費（介護高齢課） 1,546万円
 - ・既存のグループホーム等の防災対策を強化するために、非常用自家発電設備を設置等するための費用を補助する。

- 3 介護施設運営費補助金（介護高齢課） 5,567万1千円
 - ・介護事業所において、入浴サービス等によるガス・電気料金や、通所系サービスの送迎における燃料費の高騰、さらに食事の提供における材料費の高騰により経費が上昇しており、経営を圧迫していることから、安定した介護サービスの提供を継続するため、物価高騰対策支援を行う。

- 4 病院事業運営費負担金（保健医療課） 7,400万円
 - ・地方独立行政法人桑名市総合医療センターに対して、昨今の電力・ガスの物価高騰の影響による価格高騰の一部を、設立団体として支援し、地域の中核病院としての安定的な医療提供の継続を図る。

- 5 医療機関等運営費補助金（保健医療課） 4,706万8千円
 - ・市内医療機関・薬局等に対する負担軽減を図るため、物価高騰相当額の一部を補助する。

- 6 太陽光発電設備等設置費補助金（環境対策課） 503万8千円
 - ・三重県太陽光発電設備等設置費（個人向け）補助金を活用し、市民が居住する住宅の屋根に自家消費型太陽光発電設備等を設置するための費用を一部補助する。

- 7 防災拠点施設機能拡充事業費（防災・危機管理課） 1,700万円
 - ・防災拠点施設の機能拡充を図るため、地質調査や法面設計調査等を実施するための費用を計上する。

◎ こどもを3人育てられるまち

- 1 **私立保育園運営費補助金（子ども未来課）** 2,483万4千円
 - ・私立保育園等における物価高騰による電気料金等の高騰について、運営に対する影響を軽減するため、電気料金の補助を行う。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策の支援として、新型コロナウイルスの感染者等が発生した場合に、事業を継続的に実施する経費について補助する。

- 2 **障害児施設運営費補助金（子ども総合センター）** 359万1千円
 - ・物価高騰に伴い、厳しい運営状況となっている障害福祉サービス事業所（障害児通所支援等）に対し、電気・ガス料金・燃料費（ガソリン）価格の高騰分などの一部を支援することで、安定した障害福祉サービスの提供を継続するため、物価高騰対策支援を行う。

- 3 **母子家庭等自立支援給付事業費（子ども総合センター）** 475万5千円
 - ・自立支援教育訓練給付金及び高等職業訓練促進給付金について、それぞれ申請件数が当初の見込みを上回ったことにより、必要となる費用を計上する。

- 4 **出産・子育て応援交付金事業費（子ども総合センター）** 4,862万4千円
 - ・伴走型相談支援の充実を図るとともに、妊娠届出や出生届出を行った妊婦・子育て世帯等に対して経済的支援（計10万円相当）について、10月から年度末までの費用を計上する。

- 5 **学校デジタル推進事業費（学校支援課）** 937万円
 - ・スマートグラスを利用した遠隔学習に必要な物品の購入、高画質遠隔支援システムを使用した社会見学などの実施、デジタルコンテンツの作成及び、市内公共施設の3Dモデルの作成等を行う。また、中学校不登校生徒支援教室等で利用するモバイル端末を購入する費用を計上する。

- 6 **多度地区小中一貫校整備事業費（新たな学校づくり課）** 1,358万7千円
 - ・事業者提案内容を参考にして、公募資料において未利用を想定していた事業用地の一部を学校用地に取り入れたことで、追加の文化財調査を行う費用を計上する。

◎ 地理的優位性を活かした元気なまち

- 1 市道天王平1号線（新たな学校づくり課） 473万2千円
- ・当該道路は多度学園開校後のマイクロバス進入路・通学路である。用地交渉を経て道路法線が変更となったため、用地購入費・立木補償費を計上する。

◎ 桑名をまちごと『ブランド』に

- 1 SDGs体験・啓発事業費（SDGs推進課） 400万円
- ・次世代を担う小学生が、SDGsの17の持続可能な開発目標を実体験するとともに、スタートアップについても学び「ミライのシゴト」を体感する体験型事業の開催に要する負担金を計上する。
- 2 肥料価格高騰対策支援事業費（農林水産課） 844万1千円
- ・肥料価格の急激な高騰により経営が圧迫されている市内の農業者又は農業法人に対し、肥料価格上昇分の70%を補填する国の支援措置に合わせて、農家負担分の1/2（肥料価格上昇分の15%）を市が上乘せして支援する。
- 3 土地改良施設維持管理適正化事業費（農林水産課） 8,590万9千円
- ・令和6年度以降に予定されていた排水機施設維持工事について、今年度に事業進捗を図るため、必要となる費用を計上する。
※桑深排水機場、福永排水機場、大鳥居排水機場
- 4 企業誘致推進事業費（商工課） 317万2千円
- ・グローバルな視点を持って、台湾の半導体製造企業等に向けた企業誘致を推進するためのプロモーションを強化する費用を計上する。
- 5 土地区画整備事業費（桑名駅周辺整備事務所） 4億2,095万5千円
- ・土地区画整理事業により道路・公園・下水道等の公共施設を整備し、ゆとりのある生活環境の造成、駅西口への交通処理の円滑化を図る。また、馬道、小野山地区における補償交渉の進捗に伴い、委託料及び補償金を増額計上する。

◎ **納税者の視点で次の世代に責任ある財政に**

1 行政事務デジタル推進費（スマートシティ推進課） 88 万円

- ・ 市内で活用しているビジネスチャットツール「LoGo チャット」において、100 ライセンス追加する費用を計上するほか、生成 AI「ChatGPT」の導入に関する費用を計上する。